

# 守れ！イチモンジタナゴプロジェクト 2019 報告書①

開催日：平成31年4月20日（土）

時間：13時30分～15時15分

場所：レクチャールーム、イチモンジタナゴ飼育場

参加人数：12名中12名

運営スタッフ：佐々木，釜鳴，中原，伊藤（英），瀬古

内容：

- ・プロジェクトについてのオリエンテーション
- ・自己紹介
- ・水質検査
- ・イチモンジタナゴの観察
- ・タライ水槽立ち上げ

今年も始まりましたこのプロジェクト！今年は全5回，12名のメンバーで活動していきます！



まずは自己紹介。一人ずつ，このプロジェクトに対する思いをお話していただきました。これからの活動を，わたしたち職員も含め，みんな楽しみにしていることが伝わってきました！



次は，イチモンジタナゴとはどんな魚なのか？そして京都市動物園とはどんな関係なのかをお勉強しました。二枚貝のエラに産卵するおもしろい性質があること，その二枚貝も，成長の段階で他の魚に寄生することなどから，イチモンジタナゴの保全是，周りの環境全体の保全にもなることを学びました。

みなさん熱心に聞いていただきました。



次は，魚を飼育する際にとっても大切な作業である，水質検査のやり方を実際に見てもらいました。これから毎回自分たちで水質検査をすることになるため，教える側も教わる側も真剣です。



その後は、昨年初めて取り組み、今年2年目となるタライ水槽実験をスタートしました。

まずは、各グループで、一つのタライに入れるイチモンジタナゴのオスとメス、そして産卵のための二枚貝の数を相談します。

この比率が今後の繁殖にとっても大きく関わるため、みんな真剣に話し合っていました。

昨年は残念ながらどの水槽も稚魚が生まれなかったため、今年こそは！という思いから、貝や水草、隠れ場となる石のレイアウトにもこだわりが見られました。



次はいよいよ、外に出てタライ水槽の立ち上げです。

昨年は猛暑で水温が上がり、魚や貝にとっては厳しい環境となった事から、今年は少しでも水温の変化がゆるやかになるように、タライを深く土に埋めてみました。



まずは、イチモンジタナゴのオスとメスの観察です。オスとメスの見わけ方などの説明を聞きながら実際に観察し、ワークシートに書き込んでいきます。

「産卵管は、知らないとフンにしか見えないね！」

「オスの追星（繁殖期にオスの顔にできるプツプツ）があったよ！」と、みんな楽しそうに観察していました。

これから毎月、繁殖期特有の体の変化が見えてくると面白いなと思います。



これは、オスたち。ブルーとピンクのラインがきれいです。



タライに生き物を入れる前に、さっそく水質検査。意外とむずかしい…



砂利を入れたトレーに貝を入れ、タライに入れます。



隠れ場になる大きめの石の配置も考えて置き…



水草もたくさん植えました。



タナゴをすくってタライにうつします。



できあがったタライ水槽を観察します。  
居心地はよさそうかな？

今回の活動はここまでです。

ちなみに、各グループのオス，メス，貝の比率はというと・・・

(イチモンジタナゴはオスメスそれぞれ最高で3匹ずつ，貝は最高4つです)

- ・ 第1グループ オス1：メス2：貝3
  - ・ 第2グループ オス3：メス3：貝4
  - ・ 第3グループ オス2：メス3：貝4
- です。

それぞれ、タナゴや貝たちの気持ちになって選んだ数です。さて、どの水槽が一番多くの稚魚を得ることができるでしょうか？

今年もこのプロジェクトをスタートさせることができ、とても嬉しく思っています。去年は繁殖できなかったのですが、今年は去年の経験を活かし、たくさんの稚魚が生まれることを願っています。

次回以降もタライ水槽実験は続けて、さらに園内の噴水池や、動物園のまわりの環境にアプローチする活動を、メンバーの皆さんと楽しく行っていこうと思います！